



9/12 投票の県議補選 共産党から安田節子さん

佐川・越智・日高の議席 「自民に渡さない」と決意!

●9/3 告示、
12 日投票で
たたかわれる
県議補欠選挙
に党公認候補

として元教員仲間の安田節子さんが出馬します。

彼女の地元・佐川町斗賀野で15日に「あなたが大切にされる県政を！」とのスローガンで開かれた決起集会に馳せ参じ、教育の専門家として婦人問題を先進的に取り組んできた“せっちゃん”を県議に！とお願いしました。実は、安田さんは私の妻の大学の先輩。妻からの応援メッセージも最後に紹介させていただきました。以下メッセージ概略です。



●『高知大学の学生の頃、一年先輩のせっちゃんに出会いました。いつも穏やかに、にこやかに、そしてきちんと筋を通して学生自治会の活動や大学祭実行委員会等でみんなを引っ張ってくれました。

特に忘れられないのは、一緒に婦人問題研究会を立ち上げた事。恋愛、結婚、生い立ちや家族、女性がぶつからざるを得ない差別の数々。家事・育児を全て女性が？正社員

をあきらめてパートで働くの？、結婚・出産で中途退職を余儀なくされる？生涯賃金は男性のほぼ半分なの？等々、今でも問題になっている課題をみんなで学び考えました。



文献学習では飽き足らず高知県の婦人労働者の実態を探ろうと市内の病院に調査に入ったり、母親運動の歴史を直接聞き取りに行ったり、さらに、教育系学生の全国研究集会である12月集会にレポートを持って行ったり、カンパを募って母親大会や働く婦人の全国集会に派遣したり、今考えるとずいぶん精力的な活動でした。定期的に学生会館に張り出したわら半紙に刷った研究会機関紙「麦の穂」はいまも手元にあります。

頑張っていて活動している中、せっちゃんは「この間よく動いたね。ちょっと落ち着いてまとめようか。」と、ねざらいつつしっかり方向性を打ち出したりと、メンバーの一人一人に気を配り言葉かけや行動の提起をしてくれるすばらしいリーダーでした。

学生時代に取り組んでいたことの先見性に胸を張りたい気持ちと、今の時代にほとんど解決されてない後進性に愕然ともする気持ちが、政治の舞台での“せっちゃん”の活躍を期待する理由です。当選へ一緒に頑張ります！」

8月15日 吉良純子

★ラリンにやんでも通信
合鍵を作ってもらおうと廿代町の自転車屋さんに伺うと、先々週の本ニュースで紹介した「居酒屋」：ポスター発見です！自公政権は自粛と期間延長には補償を！



●ポスター「居酒屋の灯を消すな」

●安田節子さん
橋元陽一さんを
はげます会
★8月28日(土)
午後4時半〜5時半
★佐川町立 桜座
コロナ禍の中、8割の国民の五輪反対世論を無視し全国に感染を拡大させた自公政権が、今度は国民にお盆帰省の自粛や緊急事態期間の延長を強いるだけで、早期発見・早期治療への新たな取り組みは何もせず、病院に来ずに自宅で療養をと言いはなつ自民党・公明党の政治。議席を与えてはなりません。